

平成21年5月7日

各 位

株式会社日本トリム

代表取締役社長 森澤 紳勝
 (コード番号6788東証第一部)
 お問い合わせ先
 執行役員管理事業部長 古閑 信夫
 (TEL: 06-6456-4600)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年11月6日の平成21年3月期第二四半期決算にて発表いたしました平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)通期業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)連結業績予想の修正

①連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	7,880	541	660	248	55.28
今回発表予想(B)	7,962	734	865	226	50.76
増減額(B-A)	82	193	205	△22	-
増減率(%)	1.0	35.7	31.1	△8.9	-
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,748	862	929	439	96.73

②個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	7,785	520	669	274	60.90
今回発表予想(B)	7,858	695	839	192	43.21
増減額(B-A)	73	175	170	△82	-
増減率(%)	0.9	33.7	25.4	△29.9	-
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	8,608	949	1,054	356	78.44

2. 業績予想数値の修正の理由

当連結会計年度の売上高につきましては、概ね予想の範囲内で推移いたしました。

一方、営業利益及び経常利益に関しまして、従来の通期予想に比べ、通期営業利益が35.7%増、通期経常利益が31.1%増となりました。

その主たる要因は次のとおりです。

売上原価につきましては、従来の主力商品であった「TRIMION TI-9000」から最新機種である「TRINION TI-5HX」へ販売を切替えたことにより、売上総利益が通期で前期比1.0%向上し、利益に貢献いたしました。

職域販売・取付及び紹介販売部門（DS・HS事業部）におきましては、研修の中味を充実させるなど営業力の強化に取り組んだことにより、一人当たりの売上が向上し、部門販売効率が改善いたしました。

また、販売費・一般管理費につきましては、ストックビジネスであるカートリッジの工場から顧客への直接発送に切替えたことにより運送費が減少したこと、宿泊を伴う出張の見直し等により旅費交通費や通信費の削減、本年1月からキャッシュ・レスを導入し事務コストの削減等、利益率向上を目的に経費削減に取り組みました結果、販売費・一般管理費合計が前期比6.7%減と利益率改善に大きく貢献いたしました。

以上の理由により、営業利益及び経常利益の通期業績予想を修正いたしました。

個別業績予想につきましても、同様の理由により通期業績予想を修正いたしております。

なお、個別業績予想において、当期純利益につきましては、投資有価証券評価損278百万円を計上したことに伴い、通期業績予想を修正いたしております。

以 上